

## (2) 住宅・建築物の安全・安心対策

回転ドアにおける死亡事故やジェットコースターの脱輪事故など、建築物等に係る重大な事故の発生、豪雨に伴う土砂災害の発生による住宅被害等に備えて、必要な調査検討や対策を講じる。

### ①建築物等に係る事故情報収集や救急活動の円滑化

#### ○既存建築物の長期活用に係る実態調査

既存建築物の長期活用のためには、高齢者・身体障害者等が円滑に利用できることや、地震や火災に対する安全性などの機能の確保を図ることが重要であり、既存建築物におけるこれらの機能の確保の状況を把握するため、専門家による実態調査を行う。

#### ○建築物に係る事故情報の収集・公表・活用方策の検討

回転ドアにおける死亡事故を踏まえ、建築物に係る事故情報の収集・公表方法の検討、利用者や所有者に対する危険情報の周知のあり方の検討を行う。

#### ○建築物における救急救助活動への支障に係る検討

建築物の高層化・複雑化や所有者の防犯意識の向上等により、救急救助活動が困難になっている建築物が増えてきていることから、救急救助活動にも配慮した建築物の設計ガイドラインの作成を行う。

### ②がけ地近接等危険住宅移転事業の推進

がけ地の崩壊等により住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域から危険住宅の移転を行う者を支援することにより、急傾斜地崩壊対策その他災害防災対策とあいまって、危険住宅の解消と災害に強い国土づくりを推進する。

### ③シックハウス対策等

シックハウスに係る健康への影響の低減を図るため、実態調査や実証実験を行い、消費者や住宅生産者等への情報提供を実施する。また、アレルギー症状の原因の一つであるカビ・ダニについて、発生抑制に必要な対策等についての検討を行う。

## (3) 安心して取引できる住宅市場の整備

### ①第三者によるリフォーム検査体制の検討

住宅のリフォームにおける第三者による検査体制の確立、中古住宅に係る評価情報の利用等に関する検討を行う。

### ②住宅の性能に関する評価手法の高度化に向けた検討

住宅性能表示制度における新技術の評価手法の確立、中古住宅の現況評価手法の充実等に関する検討を行う。

### ③既存住宅等の性能評価に対応した紛争処理体制の整備

既存住宅等の性能評価に対応した紛争等に係る調査研究、事例分析・提供、指定住宅紛争処理機関への支援等を推進する。